

さまざまな人が関わり、まちづくりを進めています

各開発地区の事業者や地域の関係者等をつなぐ基盤として、昨年4月に設立された中野駅周辺エリアマネジメント協議会。今年度は5回の運営会議とワークショップを実施し、中野駅周辺のまちの将来像やそれを実現するための取り組みについて検討しています。協議会の構成員の方に話を聞きました。

エリアマネジメントって？

特定のエリアを単位に民間が主体となって、まちづくりや地域経営を積極的に行う取り組みのこと。
中野駅周辺エリアマネジメント協議会には、各開発地区の事業者の他、商店街連合会、観光協会を始めとした地域の関係者等が参加。



中野駅周辺エリア
マネジメント協議会
山本さん

新旧が共存するまち

再整備が進んでも、中野は「人の顔が見えるまち」であってほしい。まちは、価値観の違う人たちが一緒に過ごしたり会話したりする中で作られていくものだと考えています。

中野の個性豊かなお店も、今のまちを構成する要素の一つだと思います。私の事務所の近くにも昔ながらのお総菜屋さんがあり、子どもたちの登下校の時間「ただいま」「おかえり」の声が行き交っていて、すごく温かい。こういった人と人がつくる風景は、残っていくとうれしいですね。

新しくなる場所と、昔ながらの変わらない場所。この二つが共存して再整備が進んでほしいと思います。

失敗しても笑い合える場所を

中野には地域で活動している方がたくさんいるので、その人たちが情報を共有し合える場所が新たにできるといいですね。個々で完結していたことがつながることで、新しい発見や魅力も生まれると思うんです。また、何かに挑戦したいと思っている人に



▲今年1月にサンプラザで開催されたパネル展の様子。協議会の取り組みなどを展示しました

とっても、活動を始めるきっかけになるのでは。

気軽に挑戦して、失敗してもみんなで笑い合える場所が生まれるなら、「新しい中野」の文化も自然と創られていくと思います。

やりたいことに挑戦できる中野に

今後やりたいことは、区内の情報の一本化。例えば、その日のイベントやホール空き情報などを一括で知れたら、偶然中野に来た人も気軽に立ち寄って楽しめる。また、「中野ならやりたいことができるかも」と一歩踏み出す人たちも集まって、面白い連鎖が生まれるといいですね。

更に魅力あるまちに向けて、今後も区、事業者、地域の方などと対話を重ねていきたいです。

新しい中野らしさを考える

今回、中野区観光協会を代表して協議会に参加。また、20年以上地域で活動してきた区民として、魅力ある中野の未来にはどんなアクションが必要か、構成員のみなさんと話し合いを進めています。

まちの人や景色が変わっていく中で、今ある中野の文化や多様性を守りつつ、「新しい中野らしさ」がどんな形か考え続けていきたいです。



▲昨年12月に実施した未来の中野のまちについて考えるワークショップの様子

中野駅周辺まちづくりについて 更に詳しく知りたい方は区へ

最新情報を随時掲載。過去の説明会や意見交換会の資料などもご覧になれます。



▲区へ

いろんな人がまちづくりに関わっているんだね



中野駅周辺以外にも各地域でまちづくりは進んでいるよ。今後も要チェックだね



未来の中野の礎を築く

令和5年度の予算案をお知らせします

区長は、令和5年度当初予算案を第1回区議会定例会に提出しました。

予算は、基本計画や構造改革実行プログラムに基づく取り組みなどに重点を置いた編成としました。新庁舎移転を見据えた業務改善を進め、区民のみなさんへのサービス向上を図ります。

財政担当／5階
☎(3228)8813 FAX(3228)5650



おも
人・想い・未来

区長 酒井直人

子どもにやさしいまち、誰にとっても住みやすいまち・中野へ

2月6日にトルコ南東部において発生した大規模地震により、トルコ国内及びシリア等周辺国において犠牲になられた方々のご冥福を心よりお祈りします。

中野区は、子育て世代や地域のみなさん、更に子どもたちと対話を重ね、子育て・子育ての課題を明らかにし、それらの解決に向けて尽力しています。私は、「子どもにやさしいまち」は「誰にとっても住みやすいまち」であると確信しています。子育て・子育て政策を始め、足元の物価高騰への対策を含めて、中野区が国や都をリードしていく気概で、「子どもにやさしいまち」の実現を目指していきます。

ロシアのウクライナ侵攻を筆頭に国際紛争とその緊張が続いています。平和行政を政策目的としている中野区は、今、区としてできる平和への取り組みが何かを改めて考える時だと思っています。

また、国際情勢、技術革新など区政を取り巻く社会状況は変転し続けています。変化をキャッチすること

がこれまで以上に必要だと肝に銘じています。そして、しなやかに、かつスピーディーに対応する一方、深謀遠慮。双方なくして持続可能な区政運営は確立できないことを強く意識しています。

中野駅周辺の再整備を始め、中野は変わり続けています。その変化を魅力や安心につなげるのは「人」です。私は、区長に就任して以来、区民や事業者のみなさんとの対話に努めてきました。今、それらを政策に反映していくことに手応えを感じています。SDGs（エスディーゼーズ）、世界を変えるための目標の17番目「パートナーシップで目標を達成しよう」は、中野の得意分野。これを最大限生かして、「オールなかの」で、子どもたちの笑顔があふれ、全ての人が安心して暮らし、活躍できる、中野の未来の礎をしっかりと築いていく決意です。

区長施政方針説明の全文は
区でご覧になれます▶



（ 予算案の主な特徴 ）

横断的組織による基本計画の推進

①子育て先進区の実現②地域包括ケア体制の実現③活力ある持続可能なまちの実現に重点を置き取り組みます。

計画的な区有施設整備

将来負担を的確に把握し、効率的・効果的に整備します。

持続可能な区政運営の実現

構造改革実行プログラムを着実に進めます。

感染症対策とさまざまな活動の活性化

新型コロナウイルス感染症対策を進める他、教育・地域活動などを力強く再開させていくための支援策や商店街支援に取り組みます。

新庁舎移転を見据えた業務改善など

令和6年度の移転を見据え、業務改善、ペーパーレス推進、働き方改革等を進めます。

具体的な内容は次ページへ